

# 聞く 聴く 伝える

札幌市立栄北小学校  
5年3組 学級便り

No.35



冬休みは、こんな学習をしてほしい



子どもたち向け  
のお便りです。でも、  
おうちの人も読んでいただくと  
嬉しいです。

今の学習は、「数学」の入口です。

4年生までに学んできた算数の力を使って問題を解く、文章を注意深く読んで、楽でミスが少ない方法を見つけて問題を解く、そんな学習が続きます。みなさんの「注意深く読んで考える」力は、ぐんぐん上がっています。だから、自分の「ミスする理由」を見極め、落ち込んだりがっかりしたりせずに、気持ちを切り替えて対処できるようになってほしい、うまくいったときに喜ばしいのです。喜んだ分、かしこくなります。

算数の教科書のもくじを見てみてください。

数学は、「もとになる数」つまり「単位量あたりの大きさ」の考え方が大事だよと、ずっと伝えています。どの学習が関係あるかを表にしました。表を見て、自主学習に生かしてほしいです。

この右側のページを、ノートにやってみて。そして、「似ている」「同じだ」と気づいてほしい！

「数学の入口」をつなぐ学習名	始まりページ	「わかってるか」やってみてほしいページ
<b>1</b> 整数と小数	11	P16、17 *パッと答えをひらめきたい！
<b>3</b> 2つの量の変わり方	36	P42、P45 *式をパッとひらめきたい！
<b>7</b> 整数の見方	101	P107、P113、P116 *やり方が、すぐに思いつくかな？
<b>10</b> 単位量あたりの大きさ	142	P150、P161、162 *式の順番をまちがえなくなった？
<b>11</b> わり算と分数	163	P170、171 *この表の最初からここまででかけ算とわり算の関係がわかってくるはず。
<b>12</b> 割合とグラフ	190	まだ、習い始めたばかり。だから、全体を見通しておけるといいね。

上の学習以外に…【ここまでの学習を支える技（わざ）】

☆教科書 P82 からの「小数のわり算」を練習してほしいけど、その前に…

4年生のときの算数「下」の教科書の「小数のわり算」を復習してほしい。

※4年算数下 P88、89、P91～93 あたり 2学期の学習で、できるようになった子も多いけど、まだとまどっているかも知れません。4年生の教科書を開いて、「もうだいじょうぶかな？」、「わかっているかな？」と考えながら確かめてください。

☆5年生教科書 P122 からの「分数のたし算、ひき算」、ここもしっかりわかってほしい。

て、問題に合わせて計算できるようになっておきたい、ところです。

「わり算のひっ算」と「分数のたし算、ひき算」、この2つに、これから必要な計算の技術（計算の「技」）が、たくさん入っています。「技」は、練習してみがくことで使えるようになります。トレーニングが必要です。

【トレーニングは、答え合わせを自分でしたい！】

「わかっているかどうか」は、やりながら確かめられるけど、計算の技は答えがないと正しくできているか確かめられません。だから、答えが必要です。教科書の答えを書いたところがノートではっきり分かる人はいいいけれど、そうでない人もいますでしょう。

【そんなときは！】

おうちの人に相談して、インターネットで問題と答えをさがしてもらおうと（自分でもできるかもね。）いいですね。右のQRコードは「すらぷり」という使いやすそうな問題プリントのページです。



インターネットで探したり、画面を見たりするのが難しい人には、学校のプリントをおすすめしましたね。おうちでドリルなどの教材を買ってもらうのもよいけど、買ってもらうときは、最後までできそうなものを自分で見て選べるといいね。

算数にお悩みポイントが多い人が多いと思います。

だから、このお便りに書いてある教科書のページなどをヒントに、今、自分が必要だと思う学習をしてください。 ※漢字もお忘れなく…。

もちろん、興味があることをゆっくり調べたり、算数以外の教科の学習も大切です。自分に必要で学んだ実感がわく学習を、計画的にできるといいね。

3学期の初日は！ 1月15日（水）です。いつもの時間に待ってます。

	時間割	◎初日の持ち物は？
1	行事 始業式	学年便り『手をつな Go!』に書いてあります。
2	学活	※最初の週は、ずっと4時間授業。給食はあります。 渾身
3	国語	漢字 50 問！ 練習してね。教科書はなくても大丈夫。
4	算数	「割合」の学習を普通に進めます。

楽しい冬休みを過ごせるように願っています！